

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立古江小学校)

平成31年2月15日

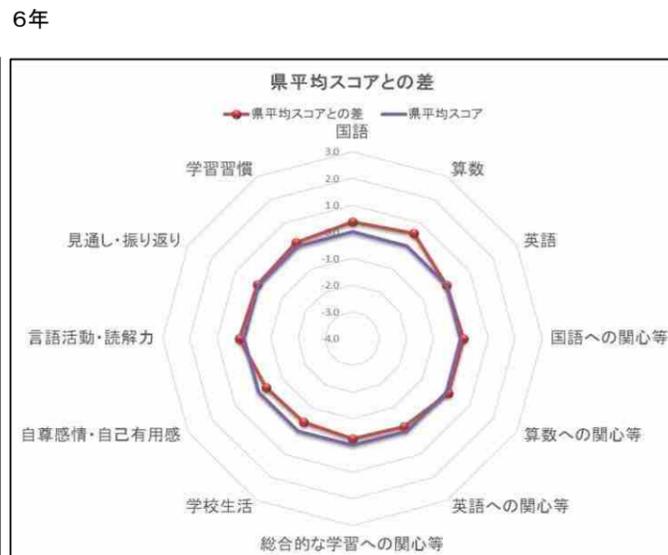
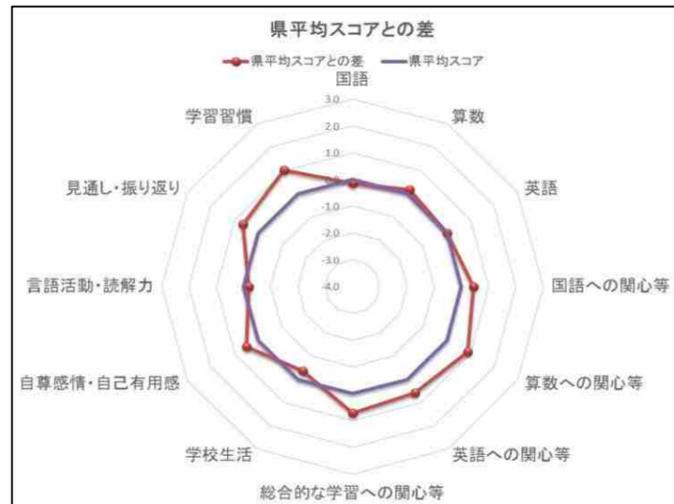
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○漢字の読み書き、ローマ字を正しく書くことができる割合が高い。 ●目的に応じて、複数の文章を比べて読むことが弱い。	・複数の文章を比較し、気づいたことを述べたりまとめたりする活動を取り入れる。 ・短作文など、テーマにあった表現を学ぶ時間を設ける。
	算数	○四則計算、図形に関する知識は、かなり身につけている。 ●数量関係をとらえて立式することや、自分の考えを説明する力が弱い。	・数量の関係を考えて、○や△を使って式をかく方法を復習する。 ・説明の仕方のモデルを示し、算数用語を使ったりして、自分の言葉で説明できるような場を授業に取り入れる。
6年	国語	○漢字の読み書きは十分に身につけている。 ●条件に合わせて文章を書き表すことができない。	・日頃から条件に合わせて書く経験を積ませていく。 ・さまざまな事象に出会わせ、考えたことを書いたりする活動を充実させていく。
	算数	○全体的に学習した内容を身につけている。 ●理解はしているが、細かいところでミスが目立つ。	・見直しや確かめ、振り返りを大切にし、習慣化を目指す。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○算数が好き、学習内容がよく分ると答える児童が増えている。 ●授業ではグループで調べ学習をしていると思う児童の割合がやや低い。	・今後も、対話型や問題解決型などの授業形態を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○宿題+自主学習で、平日1時間以上取り組む児童が増えた。 ●予習や自分で考えた問題に取り組む児童が少ない。また、児童により、取り組み方に差がある。	・自主学習の内容のモデルを示し、多様化を図る。 ・児童の進度や取り組み具合に応じ、個別に助言や指導をする。
6年	授業改善に関わる事項	○話し合う活動や調べ学習を積極的に行い、発表することができる。 ●「外国語が好きだ」と「外国語の内容がよく分かる」と答えた児童が、県の平均と比べると低い。	・生活の中で英語を使う機会を設けたり、ゲーム的な活動を通して楽しみながら外国語を学ぶ授業の仕方を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○ほとんどの児童が家庭学習をしており、1時間以上取り組む児童が多い。 ●授業の予習や復習に取り組む児童が少ない。また、社会や地域の出来事や問題に関心をもち、自分にできることを考える児童が少ない。	・自主学習に予習を取り入れたり、社会や地域の出来事をまとめ、それに対する自分の考えを書いたりするなど、内容の改善を図る。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	60	59
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 40人

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	73	70
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 43人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

